

# 浜村温泉館再生プロジェクトの概要版

## 浜村温泉の歴史

- 小泉八雲にも愛された由緒正しい温泉
- 明治以前から賑やかな温泉地で、古くから生活に密着した使い方をされていた
- 県内有数の湯量を持つ
- 貝がら節の歌と踊りが伝承されている

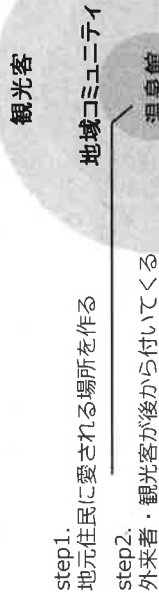
## 現状と課題点

- 温泉地として大変栄えたが、現在は衰退の一途を辿っている
  - 温泉旅館は2軒・外来者が入浴できる温泉施設がない
- 気高町唯一の商店街は、賑わいが無くなりつつある
- 地域住民の世代間の繋がりがない
- 米街着が少なく

## まちの可能性

- 観光資源（海・山・温泉・ヤサホパーク）に恵まれている
- 暮らしのインフラ（駅・金融機関・商店・飲食店・行政機関）が充実している
- 山陰道・道の駅が整備される
- 新たな魅力が生まれつつある
  - （バーリー建築、喫茶ミラクル、ホットエアール・はこぶね）

## 浜村温泉館の再生に向けて



- ・まちのことを改めて考え、議論する良い機会
- ・問題を皆で解決する習慣を継承していく

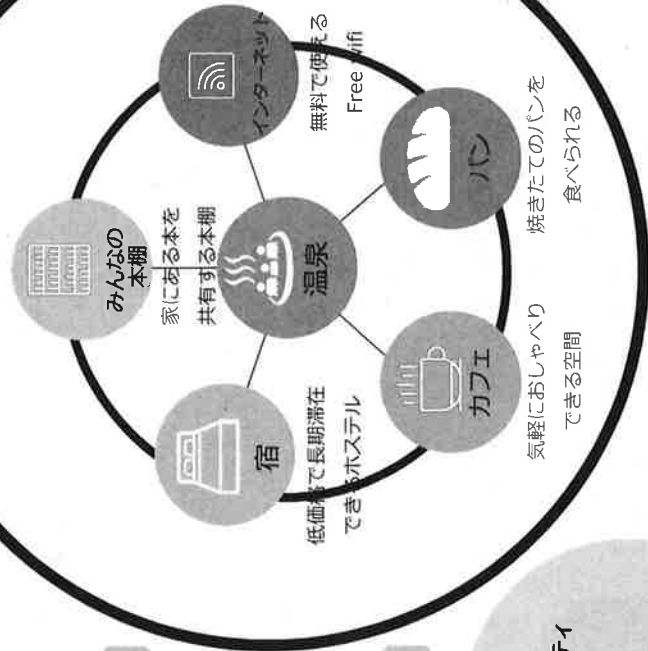
浜村温泉の日常を豊かにする

## ビジョン・事業プラン

### 「水平分業型の事業運営（まちぐるみ事業）」



### まちの「リビング」を作る



### 「小さな拠点」づくり

（地域の雇用創出と豊かな生活環境の創出）に寄与する

「小さな拠点」形成を目指す、地域の仕組み

「普遍的專業資源（地域インフラ）」の構築に取り組む。

#### ◎ 自然「10万人の集客」

- ・利益を稼ぐ事業会社、（温泉、養育、不動産、テナント賃貸、飲食、観光）
- ・利益をエリアに再投資、地域雇用をつくる
- ・顧客自給、顧客満足、事業運営

#### ◎ 温泉地縁の持つ、気づきよき魅力づくり

- ・癒しの快遊空間とサービス（ストレス社会 ⇒ 心と頭と体の癒し）
- ・源泉かけ流し = 本物の温泉

#### ◎ 地元の人や子供が集まる、人の交流を生む、地域の「コミュニティの場所」

- ・ママ友や子供が集まる「おしゃべりの場」
- ・イベント交流、楽しい交流の場

#### ◎ 「目から顔」伝承館

- ・唯と語りが見られる、「正調（明と語り）、元明」の伝承の場

#### ◎ 「さくら工房」職人補給施設

- ・陽気、温かい癒しを創る場所づくり

#### ◎ 長期滞在型の観光産業等の企画・誘客

- ・「空き家」「耕作放棄地」「シオ」⇒

- ・田舎暮らしの心地よさ「2地域居住」「海水浴場の再生」

## 事業スキーム

